

夏祭浪花鑑 登場人物相関図

佐賀右衛門

泉州浜田家臣
朋輩・磯之丞の恋人
遊女琴浦に横恋慕し
手下のチビラや
義兵次に連れ去るよう
依頼する。



琴浦を連れ出すよう
命令する

直接対決に向かう

なまのハ こっぱの権



佐賀右衛門の手下のチビラ

上捻り
げる

釣船三婦

大坂の老侠客

昔は喧嘩に明け暮れたが今では穏やかな
信心深い老侠客。団七夫婦の世話を焼いて
いる。殺人を犯した磯之丞の罪は悪巧みの
一味の仕業にしたが、疑いがかからない
よう、早く磯之丞を大坂から立ち退かせ
たいと思案する。お辰に磯之丞を預けた後
琴浦を連れにやって来た佐賀右衛門の手下を捻り上げたまま
引きずって、佐賀右衛門と直接対決に向かう。

夫婦

おつぎ



釣船三婦の妻
磯之丞の事を
お辰に頼む。

琴浦を連れ去るよう
依頼する

中間

家来

喧嘩
ぢやぞよ

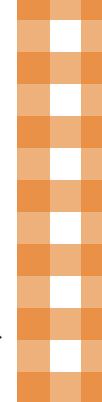


団七九郎兵衛

大坂で魚売りをしている侠客。
堺にいた頃、佐賀右衛門の中間と
喧嘩をし、牢に入れられるが、
兵太夫の尽力で釈放された。

その恩義に報いるため磯之丞を
守っている。義兵次が良い人で
ないのはわかっているが、舅で、
入牢中、お梶と市松の面倒を見
てもらったこともあり、意見
することが出来ない。義兵次が琴浦を連れ去ろうとした時に、
何とか琴浦を救うも舅のあまりの傍若無人さに、ついに殺害
してしまう。

袖を
交わす



力を合わせて守つてい
く



一寸徳兵衛

備中出身の侠客。
傾城に狂って財産を
失い、浮浪者となっ
ていた時、お梶に出会い
恩を受ける。

佐賀右衛門方にいたが、住吉長屋での一件
以来、恩義のある玉島家の磯之丞を守る
ために、団七と共に尽力する。

夫婦



三河屋義平次



お梶の実父。
仲間とともに磯之丞から
金を騙し取るわ、佐賀右衛門
に金で頼まれ、琴浦を連れ
去ろうとするなど、強欲な
人間。琴浦を逃した団七に
入牢中、お梶と市松の世話を
していた事を始めとして
罵詈雑言の限りを尽くした
挙げ句、団七の額を割り
堪忍袋の尾が切れた団七に
殺される。

殺害

夫婦



磯之丞の妻
義兵次の娘

磯之丞をたしなめた時に、浮浪者
だった徳兵衛と知り合い、磯之丞に
自分の身の上を語らせ、褒美を渡す。
団七の入牢時、兵太夫の尽力で釈放
してもらう。それ以来、大阪にいる
磯之丞を何かと気遣う。

市松

団七・お梶の
息子

お中

道具屋の娘
磯之丞の恋人
磯之丞と
駆け落ちする

恋仲

琴浦

堺乳守の遊女
磯之丞の恋人

騙して籠に乗せる

横恋慕

お辰

徳兵衛の妻。三婦の家に暇乞いに
来た時、おつぎに磯之丞の事を
頼まれ快諾する。しかし美しさを
理由に三婦に断られるが、火箸で
顔を焼き、磯之丞を預かる。

作品概要

題名：夏祭浪花鑑
作者：並木千柳・三好松洛・竹田小出雲
初演：延享2年（1745年）7月
初演座：大坂竹本座
分類：世話物
構成：全九段
相関図参考文献/ウェブサイト
・第147回文楽公演 平成29年7月
プログラム・床本
・文化デジタルライブラリーウェブサイト
夏祭浪花鑑

磯之丞

泉州浜田家臣
備中玉島兵太夫の息子。
放蕩三昧で勘当される。
団七の口利きで清七と
名乗り道具屋の手代を

していた時、店の娘お中と恋仲になる。
義兵次の一味に騙され、店の金を使い
込んでしまう。恨みを晴らすため一味の
弥市を殺し、奪われた金の分前を騙し
取り、お中と駆け落ち、三船の家に
匿われる。